



平成 23 年 8 月 17 日

報道関係各位

東京都世田谷区太子堂 2-16-5

株式会社 QLife (キューライフ)

～医療現場の悩み「時間不足の医師」「もっと説明を受けたい患者」を解消～

医師向け iPad アプリ(3.7 万ダウンロード実績)を活用し

日本初の本格的な患者説明スライド無料「ライブラリ」を開始

月 300 万人が利用する日本最大級の病院検索サイト、医薬品検索サイト、医療情報サイトを運営する総合医療メディア会社の株式会社 QLife (キューライフ/本社:東京都世田谷区、代表取締役:山内善行)は、ダウンロード数 3.7 万超(※1)の iPad アプリ『描いて消せる患者さんへの説明ボード』で利用できる、オンライン「ライブラリ」をオープンした。

※1: 7 月末までの累計、医師向け iPad 専用アプリとしては最大級の数

『描いて消せる患者さんへの説明ボード』アプリは、ホワイトボードのように真っ白な画面に描けるだけでなく、「医学スライド」「動画」上に何度でも繰り返し描けることが特長。患者別に部位・症状・治療内容・説明レベルなどが異なる実際の医療現場でも使いやすい。患者側にも分かりやすく、インフォームドコンセント(情報を得たうえでの納得)が実現して治療意欲が向上する。

医学スライド・動画を追加したい場合は、インターネットで「ライブラリ」(<http://qlifebooks.com/>)に接続すれば、約 600(※2)のスライド・動画群から自由にダウンロードできる。いったんダウンロードすれば以降はオフラインでも使用可能。コンテンツは広く全国から募集し、「優良資源の共有&内容フィードバック」のプラットフォーム化を目指す。

※2: 本日現在。年度末までに 5000 スライド、200 動画になる予定。

医師以外が作成したスライドも内容次第では搭載する予定で、既に武田薬品工業など複数の製薬会社のスライドがダウンロード可能となっている。

さらに、自作のスライドを持っている医師は、iTunes 経由でアプリにとり込むことが可能。自作スライドと「ライブラリ」からのコンテンツとを混合して、取捨選択・順番入れ替えして使うこともできる。

利用は一切無料だが、医療者限定。QLife は、ライブラリ上の広告で収益獲得するほか、製薬会社からの医薬情報コンテンツを有料搭載することで、運営費を賄う。

■アプリのダウンロードは⇒<http://itunes.apple.com/jp/app/id394861113?mt=8>

<患者説明に関する医療現場での課題>

- 医師は患者説明のたびに毎回、同じような絵や言葉を紙などに書かなければならない。
- 質疑応答次第では、説明漏れ要素が発生してしまうことも。説明漏れは訴訟リスクにもつながる。
- 絵が苦手な医師は製薬会社が作成した資材を使うこともあるが、大きさやフォーマットがバラバラのため「散在して、いざ必要な時に使えない」ことも多い。また紙では更新管理も難しい。
- 動画を見せたい場合には、ファイルが保存されている PC の部屋で改めて日時設定しなければならない。
- 看護師等に補助説明させることができれば医師の時間節約になるが、説明の質が担保できない。

<スライド・動画群の作成方法について>

- 有力医師は、市民セミナー用などで自作スライド・動画を保有しており、これらを「全国の医療従事者や患者さんの役に立つのであれば、喜んで提供したい」とする医師は多い。
- これらの医師からスライド・動画の提供を受け、体裁・内容面での必要な改変を共同で行うことで、高品質のスライド・動画群を用意する。
- 製薬会社が制作したスライド・動画も、しかるべき医師が監修し、全国の医療現場にて有用と判断できたものについては、搭載をする。

<当該アプリとライブラリの機能一覧>

●最新スライドをオンラインからインポート

アプリからインターネットに接続すれば、「ライブラリ」に続々搭載されるスライド/動画から自由にダウンロード可能。一度インポートすれば、オフラインでも使用できる。

●自分が作った資料もインポート

iTunes ファイル共有機能に対応している。自身で作成した PDF 書類や動画 (mp4、mov、m4v) をアプリに取り込み可能。独自に撮影した CT や MRI などの動画も搭載できる。

●スライドや動画は、独自編集が可能

よく使うスライドや動画は、ワンボタンで「お気に入り」指定できて、その表示順変更や、追加・削除、タイトル変更が、可能。(内容そのものを改変することはできない)

●動画も途中停止して、さくさく描ける&消せる

内蔵スライドをただ見せるだけでなく、患者さんに図版を示しながら、3色のペンツール(指で操作)で自由に書き込む事ができる。動画も途中で停止して書き込み可能。ペンツールは患者さんとの位置関係によって便利に左右切り替えできる。

●ホワイトボードを、いつでも呼び出し

何も記載されていないホワイトボードには、独自に絵を描くことができる。既定図版と交互に表示しながら、ちょっとしたメモ等にも利用できる。

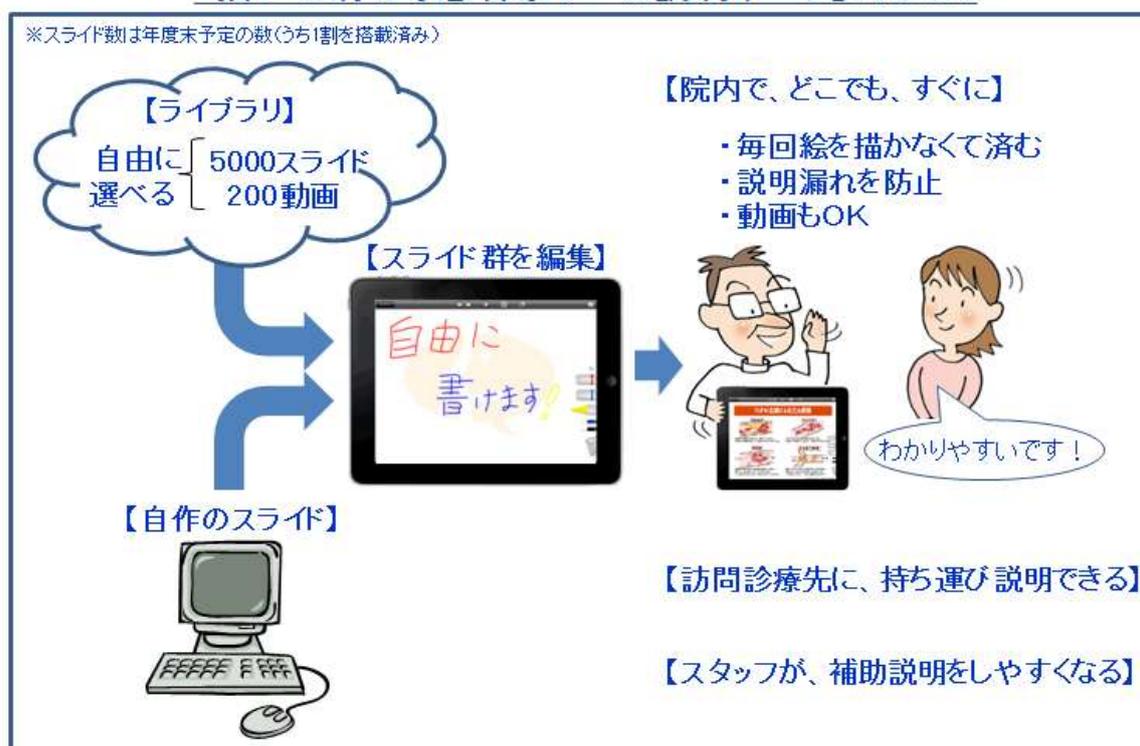
●外部モニタ出力対応

プロジェクターなどに接続する事で、セミナーや講演など複数に向けての同時説明にも活用可能。

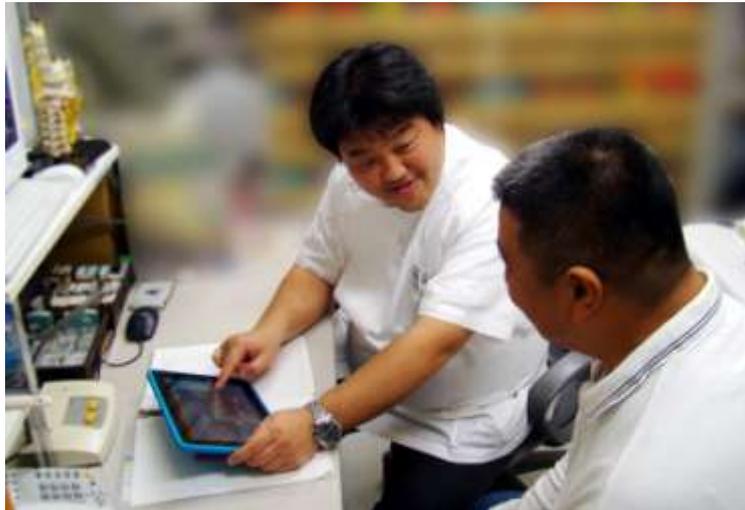
【使用上のご注意】

アプリを古いバージョンからアップデートしても起動しない、という報告があります。このような場合は、古いアプリを削除後に、新規インストールをお願いします。

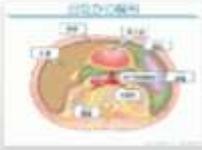
「描いて消せる患者さんへの説明ボード」のしくみ



実際に医師が利用している様子



ライブラリの画面

			
<p>X線写真集 整形外科外来説明用 0円</p> <p>意外に驚かせることが多く、正 常な骨格と異常な骨格。一般の 整形外科の外来で使用頻度が高 い。1枚1枚が個人史的かつ、患 者本人の病歴や治療の経過を よく示す。【スライド16枚】</p>	<p>「認知症の人を介護する 家族」向け、実践的の心構え 0円</p> <p>「認知症患者の介護」をこれから 始めようとする家族に、専ら 介護生活を送っているための、 実践的説明用。【スライド16枚】</p>	<p>動脈硬化と下口口血液・ 血管年齢 0円</p> <p>TV等で「血管年齢」や「口口血 液」が話題になっている。第 一人者が、イラストや写真をも とに、本人に、動脈硬化の 疾患や予防方法を具体的に説 明。</p>	<p>産業医が説明する「うつ 病」の治療・予防 0円</p> <p>「職場のうつ」に関する啓蒙を、 産業医が行った場合のイラスト 集。「治療」と「予防」の両面を分 かりやすく、産業で活用する。</p>
			
<p>産業医が説明する「うつ 病」とは」 0円</p> <p>「職場のうつ」に関する啓蒙を、 産業医が行った場合のイラスト 集。「治療」と「予防」の両面を分 かりやすく、産業で活用する。</p>	<p>胃がん治療 胃と胃切 除に関する全般的説明 0円</p> <p>胃がんの分類、手術方法の分類、 治療法に関する基本的な 説明を得るためのイラスト集。 豊富なイラストにより、病状の進 捗を伝えながら、手術について も主なもの16項目を分かりや く、産業で活用。【スライ ド20枚】</p>	<p>下腔静脈瘤とは(開業医 用) 0円</p> <p>下腔静脈瘤は、進行が遅く、命 にかかるとは例外的でない。た くさんの患者さんが無自覚のまま 生活しているが、産業に治療 や予防に関する説明がある。一時的 な「腫れ」や「痛み」を分かりやす く説明。早期治療を促すための イラスト集。【スライド14枚】</p>	<p>深部静脈血栓症とは(開 業医用) 0円</p> <p>「エコノミー症候群」とい う俗称や、産業現場でのリスク 管理、患者の注意が必要である。 深部静脈血栓症(DVT)、一時的 な「腫れ」や「痛み」を分かりやす く説明。早期治療を促すための イラスト集。【約23枚、スライ ド31枚】</p>
			
<p>併発障害の検査と治療 0円</p> <p>併発障害をきたす疾患を把握。 産科・婦人科でよく知られる 産科併発症は、診断・検査・治療 法まで詳しく説明。検査方法の 説明イラスト付き。豊富なイラスト で説明。</p>	<p>下腔静脈瘤とは(専門医 用) 0円</p> <p>下腔静脈瘤の病態、検査、診 断、治療、予防に関する、専門 医向けの説明用イラスト集。産 業現場、病室の勉強会などに 分かりやすく説明可能。統計情 報あり。【約17枚、スライド14枚】</p>	<p>深部静脈血栓症とは(專 門医用) 0円</p> <p>深部静脈血栓症(DVT)につ いて、その病態、検査、診断、治 療、予防に関する、専門医向けの 説明用イラスト集。産業現場 での勉強会などに分かりやす く説明可能。DVTによる肺 塞栓症に関する説明も充実。 【約14枚、スライド14枚】</p>	<p>胃がん治療 胃切除術の 概要と手術説明 0円</p> <p>胃癌手術の概要と手術につ いて、理解を促すためのイラスト 集。大腸がんや胃癌との関係でも 分かりやすく、(開業医)産業現場の 研修や勉強会に活用。【約23枚、スライ ド14枚】</p>
			



<株式会社 QLife の会社概要>

会社名 : 株式会社 QLife (キューライフ)

所在地 : 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 2-16-5 さいとうビル 4F

代表者 : 代表取締役 山内善行

設立日 : 2006年(平成18年)11月17日

事業内容:健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業

企業理念:生活者と医療機関の距離を縮める

サイト理念:感動をシェアしよう!

URL : <http://www.qlife.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先:

株式会社 QLife 広報担当

TEL : 03-5433-3161 / E-mail : info@qlife.co.jp
